

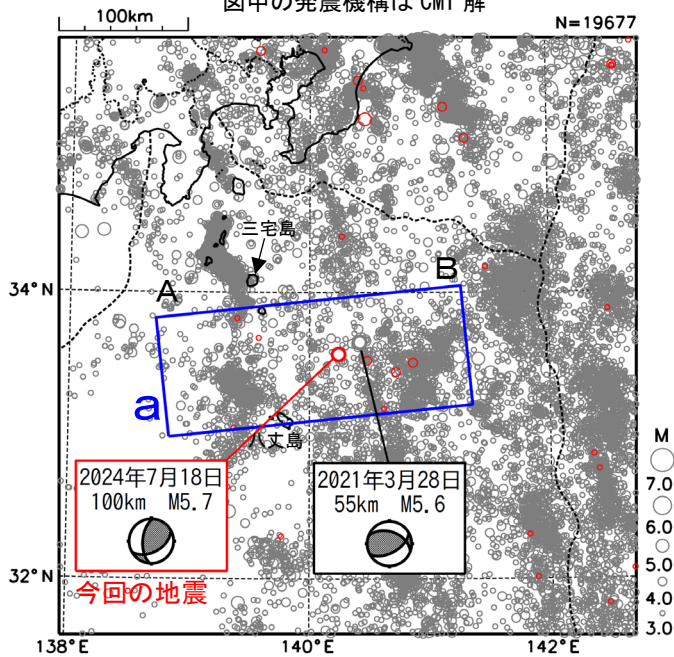
7月18日 八丈島東方沖の地震

震央分布図

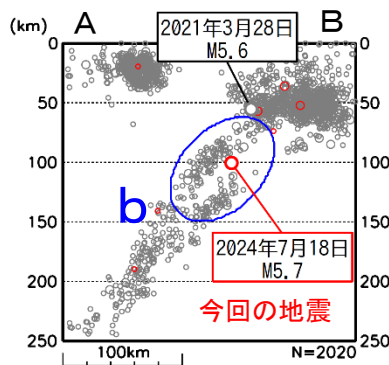
(1997年10月1日～2024年7月31日、
深さ0～250km、 $M \geq 3.0$)

2024年7月の地震を赤色で表示

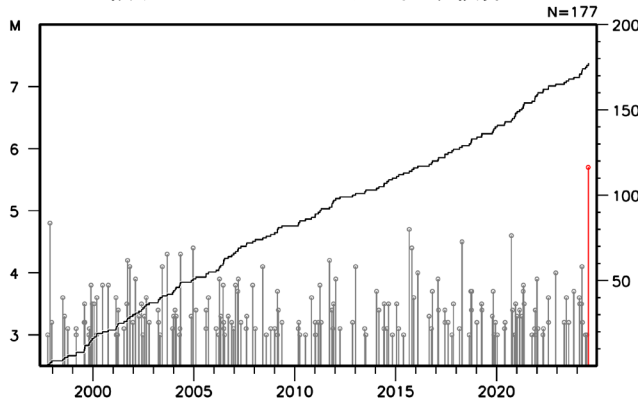
図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図



2024年7月18日20時07分に八丈島東方沖の深さ100kmでM5.7の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構 (CMT解) は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

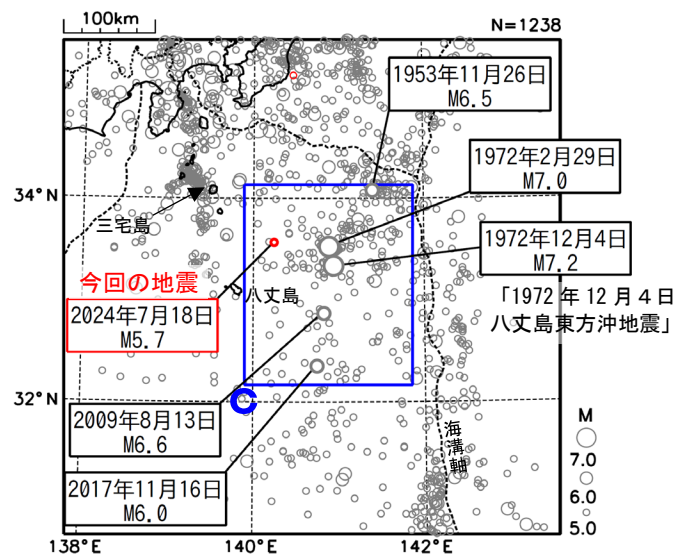
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M4.0以上の地震が時々発生している。なお、今回の地震の震央付近では、2021年3月28日にM5.6 (最大震度3) が発生した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M6.0以上の地震が時々発生している。1972年2月29日のM7.0の地震 (最大震度5) では館山市布良で最大23cm (平常潮位からの最大の高さ) を、また同年12月4日のM7.2の地震 (「1972年12月4日八丈島東方沖地震」、最大震度6) では串本町袋港で最大35cm (平常潮位からの最大の高さ) の津波を観測した。また、これらの地震により、八丈島で道路・水道の損壊や落石等の被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

震央分布図

(1919年1月1日～2024年7月31日、
深さ0～250km、 $M \geq 5.0$)

2024年7月の地震を赤色で表示



領域c内のM-T図

